

レジメン名

Ph陰性ALL維持療法

出典 JALSG ALL202

実施部署区分

入院
 外来
 処置

対象疾患

Ph陰性ALL(25歳以上*)
進行・再発
補助療法(術前・術後)
初発

* 出典では65歳未満だが、田所医師より上記で登録と。

投与減量の基準

その他			

投与中止の基準

WBC	3000/mm3未満	Plt	10万/mm3未満
その他	WBC 1500/mm3以下、ANC 750/mm3以下、Plt 5万/mm3以下、ALT 120IU/L以上のいずれかを満たすときメソトレキセートとロイケリンは中止。改善したら半量から再開。		

1クール期間 28日

(次のクールまでの標準期間)

総クール数 ※

※寛解導入療法開始日から満2年になるまで

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
ピンクリスチン(オンコビン)	1.3mg/m2 (上限2mg)	輸液100mL	30分	d1
プレドニン	60mg/m2	経口		d1-5
メソトレキセート(メソトレキセート)	20mg/m2	経口		d1、8、15、22
6-メルカプトプリン(ロイケリン)	60mg/m2	経口		d1-28

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1 ①生食50mL(ルート確保用) ②オンコビン1.3mg/m2+輸液100mL(30min) ③生食50mL(フラッシュ用)
d1-5 ①プレドニン60mg/m2(経口)
d1、8、15、22 ①メソトレキセート20mg/m2(経口)分1朝食後or眠前
d1-28 ①ロイケリン60mg/m2(経口) 分1眠前